風っ子・環境キャンペーン

前橋市

端材が世界でひとつの木琴に大変身

スタジオ マルコ

木琴は、軽く叩くだけで誰でもすぐに音が出せる楽しい楽器です。Moccaと名付けた、自分で作る木琴のワークショップを開いているのが、スタジオマルコです。

自分で作った木琴を披露する参加者。使うのは、自然乾燥させた杉の木。機械で一気に乾燥させたものとは違い、中から響くようなやわらかな音が特徴

Moccaの材料は、下仁田の製材所から出る端材。端材とは、製材をするときに出る木の切れ端のことです。この製材所では、切り出した木を太陽や風など自然の恵みを活用して木材にも地球にも負担をかけない方法で乾燥させています。折角、良い素材なので薪として使用したり、細かく砕いて使ったりする以外に上手に生かせる方法はないか、との思いから誕生したのが手作りの木琴「Mocca」です。

伊勢崎で10月半ばに開かれたワークショップには、親子連れなど10組が参加。木の香りが漂う中、Moccaにチャレンジしました。難しいのは、音を決める鍵盤作り。見本となる市販の木琴の音を聞きながら、ノコギリを使って端材の長さを調節します。一般的に木琴は、鍵盤が短くなるにつれて音が高くなりますが、Moccaはそうはいきません。木目の詰まり具合や硬さの違いで、高さも音色も変わります。参加者は8本の端材を選び、低いドの音から作り始めました。切りすぎたものは低い音にはできないからです。

神戸花さん（伊勢崎・境剛志小1年）は「ちょっとの差で音が変わるのが難しい。幼稚園の発表会で演奏した曲をやってみたい」と、小沢荘介さん（年長）は「好きな木琴を自分で作れてうれしい」と、完成したばかりのMoccaでキラキラ星を演奏していました。

音を確認しながら、少しずつ慎重に端材を切ります

スタジオ マルコ

TEL. & FAX.027-888-9525
studiomaruco@gmail.com

インテリアデザイナーの椎名マサヨシさんと、アコーディオン弾きのリンさんからなる夫婦ユニット。端材を使って作るちいさな木琴「Mocca」のワークショップとキット販売をしています。

群馬県のマスコット
「ぐんまちゃん」
許諾第2019-110878号

身近にできるエコ活動

ウォームビズを知っていますか？

「クールビズ」はよく知られていますが、では、「ウォームビズ」については知っていますか?これは、暖房に頼りすぎずに冬を快適に過ごすライフスタイルのことで、暖房時の室温を20℃（目安）にすることが推奨されています。ウォームビズの目的は、暖房に必要なエネルギー使用量を削減することによって、CO2の発生を削減し地球温暖化を防止することです。暖房を適切に使って、環境にやさしい暮らしをおくりましょう。

群馬県環境サポートセンター

風っ子・環境キャンペーン協賛社　（順不同）

トヨタ モビリティパーツ株式会社 群馬支社
HONDA Honda Cars 群馬
KADOYA 角屋工業株式会社
日産サティオ群馬
富士スバル
ユーケーホーム(株)浦野建設
ニューサンピア
JA全農ぐんま
群馬トヨペット
カネコ種苗株式会社
上武印刷株式会社
トヨタレンタリース群馬
総合住宅展示場 上毛新聞マイホームプラザ